

2018 アジアエアロビクス選手権大会 ルール

子供

演技部門				
	小学生低学年	小学生高学年	中学生・高校生	リズムダンスグループ・団体
年齢	小学1年～3年	小学4年～6年	中学1～3年・高校1～3年	区分なし
演技時間	1分10秒～1分20秒		1分15秒～1分25秒	2分30秒～3分30秒
演技フロア(シングル)	7m×7m			10m×10m
演技フロア(グループ)	10m×10m			
エレメントの数(シングル)	最大6個	最大8個	最大10個	
エレメントの数(グループ)	最大6個	最大8個	最大9個	
フロアエレメント(シングル・グループ)	最大4個	最大5個		
許可される難度エレメント	0.5まで			
エレメントプール	最低3つのグループから1個ずつ実施			
スプリット及びブッシュアップでの着地	最大1個	最大2個	最大3個	
リフト(グループ)	0～1回			

※アジア大会のワールドチャレンジエアロのルーティンは全国大会と同じルーティンとなります。

※ ワールドチャレンジエアロのルーティンは10月16日にホームページ上に発表しております。

部門

- ・ ワールドチャレンジエアロ【小学生低学年～中学生・高校生(ハンディキャップあり)】
- ・ ハッピーダンス【子供、大人の区分なし】
- ・ リズムダンスグループ・団体(2名～40名)【子供、大人の区分なし】

※ 部門の年齢は、年長者に合わせてください。
 ※ グループ・団体共にメンバー変更は可能です。
 ※ リズムダンスはダンスのジャンルは特に問わない。

大人

演技部門				
	男・女シングル	シニアシングル	グループ	リズムダンスグループ・団体
年齢	17歳～44歳	45歳以上	17歳以上(17歳未満の者との混合あり)	区分なし
演技時間	1分15秒～1分25秒			2分30秒～3分30秒
演技フロア	7m×7mを基本とする(10m×10mを超えた場合は減点)		10m×10m	10m×10m
エレメントの数	最大8個	最大6個	最大8個	
許可される難度エレメント	0.5まで			
エレメントプール	最低3つのグループから1個ずつ実施			
リフト(グループ)				0～1回

※アジア大会のワールドチャレンジエアロのルーティンは全国大会と同じルーティンとなります。

※ ワールドチャレンジエアロのルーティンは10月16日にホームページ上に発表しております。

部門

- ・ ワールドチャレンジエアロ【17歳～年齢区分なし(ハンディキャップあり)】
- ・ ハッピーダンス【子供、大人の区分なし】
- ・ リズムダンスグループ・団体(2名～40名)【子供、大人の区分なし】

※ グループ・団体共にメンバー変更は可能です。
 ※ リズムダンスはダンスのジャンルは特に問わない。

注意点(演技部門)

- ・ 減点について
 - 最低3つのグループからエレメントを1個ずつ実施が無い(1.0の減点)
 - ・規定数を超えるジャンプ、リープからのスプリット及びブッシュアップでの着地(1.0の減点)
 - ・規定数を超えるフロアエレメント(1.0の減点) * 子供の部のみ
 - ・タイムオーバー 規定時間枠内に演技がなされなかった場合(0.2の減点)
 - ・ラインオーバー 1回につき0.2の減点(男・女シングル/シニアシングルに関しては10m×10mを超えた場合減点)
- ・ラインについて
 - 男・女シングル/シニアシングル部門に関しては7m×7mを基本とするため、10m×10mで演技したとしても加点にはならない。(審査で運動強度・インテンシティーに差はつけない)
- ・ 禁止動作について
 - 当連盟では、前転とび(ハンドスプリング)、後転とび(バク転)、宙返りというような危険性の高いと思われる動作は禁止動作としておりますが、アジア大会に限り実施しても構いません。但し、加点対象にはなりません。(減点にもなりません。)
- ・ 0.6以上のエレメントについて
 - そのまま演技してもよいがカウントされません。
 - 出来ればエアロビクス動作に切り換えた方が得点が高くなります。